

2025年度 学科別授業科目一覧表 （実務経験表記あり）

課程： 工業専門課程

学科： 情報処理科/システム運用コース

NO.	授業科目	学年	授業時間数	単位	必須・選択	講義・実習	実務経験
36	データベース演習Ⅰ	2	60	4	必修	実習	無
37	データベース演習Ⅱ	2	60	4	必修	実習	無
38	CCNA基礎Ⅰ	2	60	4	必修	実習	無
39	CCNA基礎Ⅱ	2	60	4	必修	実習	無
40	JavaScript	2	60	4	必修	実習	有
41	C言語文法	2	30	2	選択	講義	無
42	C言語演習	2	60	3	選択	実習	無
43	ローコード開発	2	30	2	必修	実習	有
44	サーバ構築	2	60	4	必修	実習	有
45	アプリケーション演習	2	60	4	必修	実習	有
46	セキュリティⅡ	2	30	2	必修	講義	有
47	LinuxⅠ	2	60	4	必修	実習	有
48	LinuxⅡ	2	60	4	必修	実習	有
49	LPIC/LinuC対策Ⅰ	2	30	2	必修	講義	有
50	LPIC/LinuC対策Ⅱ	2	30	2	必修	講義	有
51	データサイエンス	2	30	2	必修	講義	有
52	AI基礎	2	60	4	必修	講義	有
53	卒業制作Ⅰ	2	60	4	必修	実習	無
54	卒業制作Ⅱ	2	30	2	選択	実習	無
55	Office実務Ⅱ	2	30	2	必修	実習	有
56	基本情報科目A対策Ⅱ	2	30	2	必修	講義	無
57	基本情報科目B対策Ⅱ	2	30	2	必修	講義	無
58	ITパスポート対策Ⅱ	2	30	2	必修	講義	無
59	セキュリティマネジメント対策Ⅲ	2	30	2	選択	講義	無
60	M O S 対策Ⅲ	2	15	1	選択	実習	無
61	一般常識Ⅰ	2	30	2	必修	講義	無
62	一般常識Ⅱ	2	30	2	必修	講義	無
63	基礎英語Ⅱ	2	30	2	必修	講義	有
64	体育実習Ⅱ	2	30	2	必修	実習	無
65	課外活動Ⅱ	2	15	1	選択	実習	無

東京電子専門学校

開講課程			開講学科	開講年度		履修対象
工業専門課程			情報処理科/システム運用コース	2025		2 年 前期
講義区分		授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数
専門	必修	実習	データベース演習 I	成田与志子	無	4 単位 60 時間
【授業の到達目標及びテーマ】						
データベースの授業で学んだSQLを実際に演習で確認する。						
【講義概要】						
問題を出題し、DBから指示された結果を抽出するSQLを記述する。完成したSQLを提出する。						
回	授業計画及び学習の内容					
1	データベースの作成。テーブルの作成					
2	SELECT WHERE句 IN, BETWEEN, LIKE, AND, OR, NOT > < = ワイルドカード					
3	集計関数 COUNT(), SUM(), MAX(), MIN(), AVG() 。別名 AS。算術演算子 + - * /					
4	並べ替え ORDER BY, DESC, ASC。グルーピング GROUP BY, HAVING					
5	ここまでの復習。 where と having の使い分け。テーブルの作成 CREATE, INSERT, DROP					
6	等結合、外部結合（左結合、右結合）。 INNER JOIN, LEFT JOIN, RIGHT JOIN, ON					
7	デカルト積。左結合と内部結合の使い分け。自己結合。日付時刻型の扱い。エイリアス。					
8	結合の復習					
9	サブクエリ。単一行問合せ、複数行問合せ。ANY, ALL					
10	相関がないときのサブクエリ 1					
11	相関がないときのサブクエリ 2					
12	サブクエリと結合の使い分け。is null, is not null の扱い。					
13	相関がないとき、相関があるときのサブクエリ。EXISTS, NOT EXISTS演算子の使い方					
14	テーブルの挿入 & 更新 & 削除。INSERT, DELETE, UPDATE, DROP TABLE					
15	まとめ					
【成績評価方法】						
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）
割合		80%			20%	
(補足)		・ 成績は100点を最高とし、60点を及第点とする。 ・ 原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。				
【教員紹介】						
情報学部の教員として、現在に至る。						
【教科書・参考文献】						
ITワールド （インフォテックサーブ）						

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース		2025		2 年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・ 時間数	
専門	必修	実習	データベース演習Ⅱ		成田与志子	無	4 単位 60 時間
【授業の到達目標及びテーマ】							
前期で学んだSQL操作を元にして、プログラムからRDBを操作する。言語はPHPを使用する。							
【講義概要】							
毎回課題を提示する。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	php のはじめ						
2	php のはじめ						
3	ftpにより画像ファイルを利用						
4	配列、連想配列						
5	DBを作成してプログラムから操作する。Mysqlモニターの使い方						
6	formタグ						
7	DBの更新。Update、insert、delete						
8	HIDDEN属性によるデータ渡し						
9	掲示板作成 1						
10	掲示板作成 2						
11	ショッピングサイト 1						
12	ショッピングサイト 2						
13	ショッピングサイト 3						
14	ショッピングサイト 4						
15	まとめ						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（	合計
割合		80%			20%		100%
(補足)		・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。					
【教員紹介】							
情報学部の教員として、現在に至る。							
【教科書・参考文献】							
特になし							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象														
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース		2025		2 年 前期														
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・ 時間数														
専門 必修	実習	CCNA基礎 I		菊池 靖	無	4 単位 60 時間														
【授業の到達目標及びテーマ】																				
コンピュータネットワークが繋がる理由、仕組みと基本的なネットワーク機器の設定を習得する。																				
【講義概要】																				
ネットワークが繋がる仕組みを、OSI参照モデルをベースにして各階層ごとに働くプロトコルとその連携を知り、デバイスの設定に反映できるようにする。																				
回	授業計画及び学習の内容																			
1	CCNA試験とは・コンピュータネットワークとは・OSI参照モデル																			
2	PacketTracerの使い方・Ciscoデバイスの基本設定																			
3	IPアドレス・IPv6・ICMP																			
4	ルータとルーティング・ルータIFのアドレス設定・PCのアドレス設定																			
5	スタティックルーティング・デフォルトルートの設定																			
6	ルーティングプロトコル・ここまでの復習																			
7	中間試験																			
8	RIPの設定・デフォルトルートの伝播																			
9	2進数・サブネットワーク																			
10	VLSM・サブネットの設計・RIPv2																			
11	IPv6ルーティング																			
12	仮想端末接続・Ciscoデバイスのセキュリティー																			
13	データリンク層とイーサネット・シリアル回線																			
14	ここまでの復習																			
15	期末試験																			
【成績評価方法】																				
<table><tr><td>評価項目</td><td>試験・課題</td><td>小テスト</td><td>レポート</td><td>平常点</td><td>その他（ ）</td><td>合計</td></tr><tr><td>割合</td><td>60%</td><td></td><td></td><td>40%</td><td></td><td>100%</td></tr></table> （補足） ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 ・レポートや自習課題は必ず提出すること。							評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	割合	60%			40%		100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計														
割合	60%			40%		100%														
【教員紹介】																				
大学・専門学校で情報系の授業を30年以上担当。Cisco CCNA インストラクター資格を取得済み。																				
【教科書・参考文献】																				
-																				

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース		2025		2 年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・ 時間数	
専門	必修	実習	CCNA基礎 II		菊池 靖	無	4 単位 60 時間
【授業の到達目標及びテーマ】							
コンピュータネットワークが繋がる理由、仕組みと基本的なネットワーク機器の設定を習得する。							
【講義概要】							
ネットワークが繋がる仕組みを、OSI参照モデルをベースにして各階層ごとに働くプロトコルとその連携を知り、デバイスの設定に反映できるようにする。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	I の復習						
2	スイッチとハブの動作の違い、MACアドレスとは、A R P						
3	スイッチの基本コマンド-ホスト名やパスワード、I P ・GW設定など						
4	ポートセキュリティ						
5	STP						
6	ここまでの復習						
7	中間試験						
8	VLAN1						
9	VLAN2, VLAN間ルーティング						
10	ワイルドカードマスク、ACL1						
11	ACL2						
12	NAT						
13	DHCP						
14	ここまでの復習						
15	期末試験						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（	合計
割合		60%			40%		100%
(補足)		・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 ・レポートや自習課題は必ず提出すること。					
【教員紹介】							
大学・専門学校で情報系の授業を30年以上担当。Cisco CCNA インストラクター資格を取得済み。							
【教科書・参考文献】							
-							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース		2025		2 年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・ 時間数	
専門 必修	実習	JavaScript		榎本博文	有	4 単位 60 時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
ブラウザで稼働する唯一の言語JavaScriptの、基本的な概念とプログラミングの基礎を学びます。HTMLやCSSと連携しながら、動的なWebページを作成する方法を習得します。最終的には、簡単なWebアプリケーションを作成できることを目指します。							
【講義概要】							
JavaScriptの基本的な文法と書き方からDOM操作							
回	授業計画及び学習の内容						
1	JavaScriptとはどんなプログラミング言語か？ JavaScriptのできる事。開発環境の準備。 変数と定数						
2	データ型と演算子、制御構造						
3	関数を利用してみる。						
4	数値と計算 年月日を取得する						
5	文字列の操作 文字列結合：文字列と数値、ブール値、配列						
6	配列の処理、配列の書き方・基本形						
7	オブジェクトとMap、Set						
8	基本的なクラスの定義と利用						
9	クラスの継承 インスタンスを生成する						
10	プロトタイプ継承の簡単な例						
11	クロージャの基本的な例						
12	HTMLの操作（DOM） キー入力のイベントリスナーを設定する						
13	フォームの操作 form.elementsですべてのフォーム部品を取得する						
14	非同期処理 JSONデータをPOSTで送信						
15	非同期処理 複数の非同期処理を並行処理する						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合		60%	20%		20%		100%
(補足)		・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 ・レポートや自習課題は必ず提出すること。					
【教員紹介】							
ウェブ制作会社・代理店などでウェブデザイナー、プロジェクトマネージャーなど業務に従事。							
【教科書・参考文献】							
これからのJavaScriptの教科書 上記に加え別途補足資料を作成し配布							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象		
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース		2025		2 年 通年		
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・ 時間数		
専門	選択	講義		C 言語文法		砂賀 勝己	無	2 単位 30 時間
【授業の到達目標及びテーマ】								
C言語の文法について学習する。Javaを履修済みのため、Javaとの違いなどに触れながら進める。								
【講義概要】								
文法で学習したことを演習することで、さらに理解度を深める。								
回	授業計画及び学習の内容							
1	Javaとの違い、変数など							
2	scanf関数、代入式、四則剰余演算に関する演習							
3	基本的なfor命令、forの入れ子、インクリメント/デクリメント							
4	基本的なif命令、ifの入れ子、elseif							
5	初期値、条件、増分などのないfor・break							
6	中間試験							
7	一次元配列 1 (int)							
8	一次元配列 2 (char)、(char配列による)文字列の取り扱い							
9	ソートの手法、乱数							
10	二次元配列							
11	関数 1 (概要、戻り値のない関数)							
12	関数 2 (戻り値のある関数)							
13	ポインタ概要 1							
14	ポインタ概要 2							
15	期末試験							
【成績評価方法】								
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（	）	合計
割合		80%			20%			100%
(補足)		・ 成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・ 原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 ・ レポートや自習課題は必ず提出すること。						
【教員紹介】								
教育機関にて学内のシステム・インフラ開発業務に従事 教員歴30年強. プログラム言語やネットワーク、サーバ系の授業を主に担当。								
【教科書・参考文献】								
-								

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース		2025		2 年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・ 時間数	
専門 選択	実習	C 言語演習		砂賀 勝己	無	3 単位 60 時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
C言語の文法について学習する。Javaを履修済みのため、Javaとの違いなどに触れながら進める。							
【講義概要】							
文法で学習したことを演習することで、さらに理解度を深める。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	Javaとの違い、変数など						
2	scanf関数、代入式、四則剰余演算に関する演習						
3	基本的なfor命令、forの入れ子、インクリメント/デクリメント						
4	基本的なif命令、ifの入れ子、elseif						
5	初期値、条件、増分などのないfor・break						
6	中間試験						
7	一次元配列 1 (int)						
8	一次元配列 2 (char)、(char配列による)文字列の取り扱い						
9	ソートの手法、乱数						
10	二次元配列						
11	関数 1 (概要、戻り値のない関数)						
12	関数 2 (戻り値のある関数)						
13	ポインタ概要 1						
14	ポインタ概要 2						
15	期末試験						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
割合		80%			20%		100%
(補足)		・ 成績は 1 0 0 点を最高とし、6 0 点以上を及第点とする。 ・ 原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 ・ レポートや自習課題は必ず提出すること。					
【教員紹介】							
教育機関にて学内のシステム・インフラ開発業務に従事 教員歴30年強. プログラム言語やネットワーク、サーバ系の授業を主に担当。							
【教科書・参考文献】							
-							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース		2025		2 年 後期	
講義区分		授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・ 時間数
専門	必修	実習	ローコード開発		坂東 佑一	有	2 単位 30 時間
【授業の到達目標及びテーマ】							
近年注目を集めているノーコード・ローコード開発を経験し、簡単な業務アプリケーションを作成できるようになる。							
【講義概要】							
国内3万社以上の導入実績があるサイボウズ社のノーコード・ローコードツール kintone を使い、アプリケーション開発演習を行う。例えば、就職活動相談アプリ、顧客管理アプリ、交通費申請アプリ等の作成を予定している。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	DX、ノーコード・ローコード開発とは、kintoneの概要、kintoneへのログイン確認						
2	kintoneを使ったはじめてのアプリ作成、操作体験						
3	Excelデータをインポートして作るアプリ						
4	テーブル機能を利用したアプリ作成						
5	複数アプリの連携演習						
6	複数アプリの連携演習						
7	総合演習						
8	グラフと集計機能						
9	プロセス管理（備品購入申請・交通費申請など）						
10	アクセス権の設定、スペース活用（基礎）						
11	ピープル、スペース活用（応用）						
12	管理者権限、システム拡張						
13	事例動画から学ぶグループワーク						
14	事例動画から学ぶグループワーク						
15	総合演習						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（	合計
割合		100%					100%
（補足） 挙手、発表等の積極的な授業参加には別途大きく加点する。							
【教員紹介】							
慶應義塾大学理工学部情報工学科(学士)、東京大学大学院学際情報学府(修士) NTT研究所(2013-2015)、慶應義塾ITC(2015-2020)での勤務を経て、2020年2月～現職							
【教科書・参考文献】							
専門学校・大学向け授業用ガイドブック kintone入門編（サイボウズ株式会社）							

東京電子専門学校

開講課程			開講学科	開講年度		履修対象	
工業専門課程			情報処理科/システム運用コース	2025		2 年 後期	
講義区分		授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数	
専門	必修	実習	サーバ構築	稲垣 高宏	有	4 単位 60 時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
ウィンドウズサーバの基本的な機能を実習を中心に習得する。							
【講義概要】							
基本的な機能を理解しながら、機能別にサーバ構築が使えるようにする。 中間と期末試験は行わない。実習中心とする。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	Windowsサーバとクライアントのインストールと接続確認。						
2	DNSのインストールと設定とテストを行う。						
3	Active Directoryの説明とインストールし、クライアントからのログイン。						
4	グループポリシーとクライアント管理。						
5	ファイルとフォルダのアクセス権と共有。						
6	DHCPの設定とテスト。						
7	Webの仕組。IISのインストールと設定。						
8	ftpのインストールと設定。						
9	xampのインストールと、Apacheの設定してクライアントから接続。						
10	CGIの理解。PHPによる接続。						
11	mysqlの設定と、PHPから接続。						
12	セキュリティの基本的な設定の確認。						
13	総合演習 1						
14	総合演習 2						
15	まとめ						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合		60%			40%		100%
(補足)		毎回の授業の課題の提出を重視する。平常点は出席を重視し、欠席1回が10%にあたる。					
【教員紹介】							
メーカー系 I T 企業で S E、プログラマとして開発業務に従事する。退職後に、シグマプロジェクトの研究員を務める。2 0 代で起業して外資系やメーカー系の会社などを中心に開発業務に従事する。開発のほかに、マニュアルなどの翻訳や出版業務も行う。							
【教科書・参考文献】							
なし							

東京電子専門学校

開講課程			開講学科	開講年度		履修対象
工業専門課程			情報処理科/システム運用コース	2025		2 年 後期
講義区分		授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数
専門	必修	実習	アプリケーション演習	黒澤 純一	有	4 単位 60 時間
【授業の到達目標及びテーマ】						
情報デザインに関する入門的、実験的な実習演習を行う。 情報を正確に他者に「伝える」事を意識し、受け手の多様性になどにも配慮したコンテンツを作成を行う。						
【講義概要】						
Adobe社のアプリケーションを用いて基本的な操作方法を習得し、Web、DTP、動画制作の基礎を学ぶ。「伝わる資料」を効率よく作成するための手法を、基礎から応用まで幅広く学習し「伝える」表現の幅を広げる。						
回	授業計画及び学習の内容					
1	本講義の説明、自己紹介パネルの作成（Illustrator）					
2	デザイン基礎1（Adobe Photoshop・Illustratorの基本機能説明）					
3	ビットマップ画像とベクトル画像の違い。解像度の説明。					
4	色のユニバーサルデザインとはなにか？色覚特性について理解する。					
5	デザイン基礎2（Adobe Photoshop・Illustrator実践練習） 印刷概論					
6	デザイン基礎3（Figma基本機能説明）					
7	デザイン基礎4（Webページのカンプデザイン作成）					
8	Adobe Photoshop・Illustratorを利用した課題作成Ⅰ					
9	Adobe Photoshop・Illustratorを利用した課題作成Ⅱ					
10	動画基礎1（Aftereffects Adobe Premiere Pro の基本説明）					
11	動画基礎2（Aftereffectsの演習）					
12	動画基礎3（Adobe Premiere Proの演習）					
13	課題の講評、プレゼンテーション発表①					
14	課題の講評、プレゼンテーション発表②					
15	課題の講評、プレゼンテーション発表③					
【成績評価方法】						
評価項目		試験・課題	小テスト	課題レポート	平常点	その他（ ）
割合		50%			50%	
(補足)		・成績は100点を最高とし、60点を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。				
【教員紹介】						
エンタメ・デザイン・映像関連企業にて企画・制作業務に従事						
【教科書・参考文献】						
講義内容に沿ったテキストの配布						

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象		
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース		2025		2 年 前期		
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数		
専門	必修	講義		セキュリティⅡ		久良知 眞紀子	有	2 単位 30 時間
【授業の到達目標及びテーマ】								
情報セキュリティマネジメント試験の午前・午後問題分野について、要点確認と問題演習を行う。								
【講義概要】								
教科書の単元に沿って解説する。毎回、授業の最後に、その日の授業の範囲から出題した小テストを行う。								
回	授業計画及び学習の内容							
1	情報セキュリティ全般：単元01 情報セキュリティ							
2	情報セキュリティ全般：単元02 マルウェア、単元03 パスワードの不正入手/不正利用、							
3	情報セキュリティ全般：単元04 Webサイト利用者への攻撃、単元05 サービスの妨害/悪用、							
4	情報セキュリティ全般：単元06 人的脅威、単元07 物理的脅威/その他の脅威、							
5	情報セキュリティ全般：単元08 暗号化技術、単元09 認証技術							
6	情報セキュリティ全般：単元10 デジタル署名							
7	中間試験							
8	情報セキュリティ対策：単元11 マルウェア対策、単元12 不正アクセス対策							
9	情報セキュリティ対策：単元13ネットワークセキュリティ、単元14情報漏えい対策							
10	情報セキュリティ対策：単元15その他のセキュリティ対策							
11	情報セキュリティ管理：単元16 情報セキュリティマネジメント、単元17 ISMS							
12	情報セキュリティ管理：単元18 リスクマネジメント、単元19 情報セキュリティインシデント管理							
13	情報セキュリティ関連法規：単元20 情報セキュリティ関連法規							
14	総合問題							
15	期末試験							
【成績評価方法】								
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（	）	合計
割合		80%			20%			100%
(補足)		・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 ・レポートや自習課題は必ず提出すること。						
【教員紹介】								
①銀行でシステム開発に従事（2年） ②IT企業で開発に従事（2年） ③起業し、システム開発、教育、翻訳、テクニカルライティング（20年） ④専門学校でIT系科目を担当（10年）								
【教科書・参考文献】								
情報セキユマネ試験 要点&問題集（インフォテックサーブ）								

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース		2025		2 年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・ 時間数	
専門 必修	実習	Linux I		鈴木 俊	有	4 単位 60 時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
Linuxの利用に必要な基礎知識と基本操作方法（ファイル操作からシステム管理まで）を習得することを目標とする。							
【講義概要】							
各回、テーマに沿った演習（実機コマンド操作）を実施する。講義内での演習の作業証跡（ログや画面キャプチャ）を提出課題（平常点）とする。また、復習としてのレポート・自習課題も提出とする。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	Linuxのインストール						
2	Linuxのコマンドライン操作の基本（ファイル操作）①						
3	Linuxのコマンドライン操作の基本（ファイル操作）②						
4	シェルのメタキャラクタ						
5	標準入出力とリダイレクト						
6	viエディタ						
7	中間試験						
8	パイプラインと grep コマンド						
9	ユーザーとグループの管理						
10	所有者管理とアクセス権						
11	パッケージ管理						
12	デバイスとファイルシステム						
13	シェルスクリプト						
14	バックアップとジョブスケジューリング						
15	期末試験						
【成績評価方法】							
評価項目		試験	小テスト	レポート 自習課題	平常点 （演習提出）	その他（ ）	合計
割合		40%		10%	50%		100%
(補足)		・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 ・レポートや自習課題は必ず提出すること。					
【教員紹介】							
金融、通信キャリアの構築・運用業務に、インフラ（NW、サーバー）エンジニアとして従事 携帯電話会社のメールシステム構築業務、金融会社のシステム設計・構築業務、等							
【教科書・参考文献】							
オリジナル教材ーLinux I（ベーシック）							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象		
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース	2025		2 年 後期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数		
専門 必修	実習	LinuxⅡ	鈴木 俊	有	4 単位 60 時間		
【授業の到達目標及びテーマ】							
WebサーバーやDNSサーバーをはじめとする各種Linuxサーバーの構築技術の基本の習得、また、サーバー公開時におけるセキュリティ知識の基本の習得を目標とする。							
【講義概要】							
各回、テーマに沿った演習（実機コマンド操作）を実施する。講義内での演習の作業証跡（ログや画面キャプチャ）を提出課題（平常点）とする。また、復習としてのレポート・自習課題も提出とする。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	Linuxのインストール						
2	パッケージ管理						
3	Webサーバーの構築（Apache Webページの公開設定）						
4	Webサーバーの構築（Apache 設定変更）						
5	Webサーバーの構築（Apache ユーザー認証、SSLの利用）						
6	Webサーバーの構築（Apache PHPとMariaDBの連携）						
7	中間試験						
8	SSHの公開鍵・秘密鍵認証、ファイアウォールの設定						
9	DNSサーバー（BIND）の構築（DNS権威サーバー）						
10	DNSサーバー（BIND）の構築（DNSキャッシュサーバー）						
11	メールサーバーの構築（Postfixの利用）						
12	メールサーバーの構築（Dovecotの利用）						
13	メールサーバーの構築（SSLの利用）						
14	総合演習						
15	期末試験						
【成績評価方法】							
評価項目		試験	小テスト	レポート 自習課題	平常点 （演習提出）	その他（ ）	合計
割合		40%		10%	50%		100%
(補足)		・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 ・レポートや自習課題は必ず提出すること。					
【教員紹介】							
金融、通信キャリアの構築・運用業務に、インフラ（NW、サーバー）エンジニアとして従事 携帯電話会社のメールシステム構築業務、金融会社のシステム設計・構築業務、等							
【教科書・参考文献】							
オリジナルテキストーLinuxⅡ（サーバー＆セキュリティ）							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース		2025		2 年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・ 時間数	
専門	必修	講義	LPIC/LinuC対策 I		太田 和也	有	2 単位 30 時間
【授業の到達目標及びテーマ】							
Linux Essentialsを取得する							
【講義概要】							
CentOSの基本的な操作を習得していることを前提として、Linux Essentials試験対策に特化した知識の整理を行う。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	パス、ユーザ、コマンドの基本書式						
2	シェル変数と環境変数						
3	ファイルとディレクトリの操作						
4	テキストファイルの操作						
5	アーカイブの作成展開、圧縮と解凍、テキストエディタvi						
6	ここまでの復習						
7	中間試験						
8	スクリプトの基本						
9	ハードディスク、各種ディレクトリの役割						
10	ネットワーク基礎						
11	ユーザとグループの管理						
12	パーミッション設定、Linuxのアプリケーション						
13	Linuxのディストリビューションとライセンス						
14	ここまでの復習						
15	期末試験						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（	合計
割合		100%					100%
(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 ・レポートや自習課題は必ず提出すること。							
【教員紹介】							
独立系IT企業にて、アンチウイルス製品のプリセールスおよび製品導入作業、サーバの設計、構築、保守に従事。							
【教科書・参考文献】							
特になし。授業中に独自に作成したプリントを配布する。							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象	
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース	2025		2 年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数	
専門 必修	講義	LPIC/LinuC対策Ⅱ	太田 和也	有	2 単位 30 時間	
【授業の到達目標及びテーマ】						
LPIC101取得を目標とする。						
【講義概要】						
LPIC101試験に合格するのに必要な知識について、優先度をつけて紹介する。また、Linuxのしくみなど理解が困難な内容について解説する。						
回	授業計画及び学習の内容					
1	絶対パス、相対パス、Linux内のディレクトリ構造についてのおさらい					
2	主要なファイル操作・編集系コマンドの確認と紹介					
3	パイプとリダイレクト					
4	正規表現に関わるコマンド、viエディタの操作					
5	アーカイブファイルと圧縮・展開					
6	これまでの学習範囲に対応する問題演習					
7	中間試験					
8	ファイルのアクセス権、所有者・所有グループの設定管理					
9	リンクとプロセスの管理					
10	パーティションとファイルシステム、マウント					
11	Linux起動の流れ					
12	パッケージの管理					
13	その他LPIC101で出題される事項の解説					
14	これまでの学習範囲に対応する問題演習					
15	期末試験					
【成績評価方法】						
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	100%					100%
(補足)						・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 ・レポートや自習課題は必ず提出すること。
【教員紹介】						
独立系IT企業にて、アンチウイルス製品のプリセールスおよび製品導入作業、サーバの設計、構築、保守に従事。						
【教科書・参考文献】						
翔泳社「LPICレベル1 version5.0対応」						

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象	
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース	2025		2 年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数	
専門 必修	講義	データサイエンス	吉田雅裕	有	2 単位 30 時間	
【授業の到達目標及びテーマ】						
Excelを用いたデータクレンジングの方法、データの正しい読み方、統計的手法を用いたデータ分析をできるようになる。実際のビッグデータに対して、データサイエンスの各種手法を適用できるようになる。						
【講義概要】						
ビッグデータの利活用が必須化している現代において、実際に大量のデータに接し、それを加工・分析・可視化するスキルが極めて重要となる。本講義では、Microsoft社の表計算ソフト『Excel』を用いて、演習を中心とした授業内容により、データサイエンスの基礎技術を習得する。						
回	授業計画及び学習の内容					
1	イントロダクション					
2	データサイエンスのプロセス					
3	データ収集①（公開データ）					
4	データ収集②（アンケート調査）					
5	データクレンジング					
6	データ集計					
7	データ可視化					
8	統計学基礎					
9	統計的推定					
10	統計的検定					
11	連関分析					
12	相関分析					
13	データサイエンス演習①					
14	データサイエンス演習②					
15	データサイエンス演習③					
【成績評価方法】						
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合			100%			100%
(補足)						・ 成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・ 原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 ・ レポートや自習課題は必ず提出すること。
【教員紹介】						
1985年生まれ。山口県出身。東京大学大学院博士課程修了。博士(学際情報学)。日本学術振興会特別研究員を経て、2013年に日本電信電話株式会社に入社。5Gと自動運転に関する研究開発を経て、現在、中央大学国際情報学部准教授。コンピュータネットワークとAIに関する研究教育活動に従事。						
【教科書・参考文献】						
参考文献：吉田雅裕，『Pythonで学ぶはじめてのデータサイエンス』， 技術評論社，2023						

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象		
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース		2025		2 年 後期		
講義区分		授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
専門	必修	講義	AI基礎		吉田雅裕	有	4 単位 60 時間	
【授業の到達目標及びテーマ】								
情報社会が抱える諸問題を多角的に分析・解明した上で、その問題の解決策を論理的に構築するために有用なデータマイニングの基礎技術の習得を目指す。実社会のビッグデータを対象に、データクレンジングの方法やAIの適用方法を学習し、データマイニングによって得られる結果を正しく理解するための論理的思考力を身に着ける。例として、身近な医療や保健のデータ、電子メールのデータ、スーパーマーケットの商品販売履歴などのデータを学習に利用する。日ごろ直感的に感じていることと、データマイニングでわかることを比較し、データマイニングに関するより深い理解を得る。 Pythonを使って、実際にデータマイニングを行うための具体的な方法論を習得する。Pythonを使って実際のビッグデータに対して基礎的な分析ができるようになる。データ分析結果の正しさを判断し、データサイエンスで論理的な主張を行えるようになる。								
【講義概要】								
膨大な非構造化データ、いわゆるビッグデータから、何らかの知見を導き出すデータマイニングについて学修する。連関規則、決定木、クラスタ分析、回帰分析、自己組織化マップ、ニューラルネットなどについて学び、ツールを用いることによっていわゆるAI（弱いAI）を活用することができる水準の技術を獲得する。機械学習についても、教師あり学習、教師なし学習、強化学習の特徴を把握し、自らが行う問題解決に際して、適切な方法を選択できる力量を養う。本講義では、プログラミング言語『Python』を用いたデータマイニングを行う。演習を中心とした授業内容により、データマイニングとAIの基礎技術を学習する。								
回	授業計画及び学習の内容							
1	イントロダクション							
2	Pythonプログラミング							
3	データ収集							
4	データ前処理							
5	確率統計							
6	統計的検定							
7	A/Bテスト							
8	アルゴリズム							
9	回帰							
10	分類							
11	クラスタリング							
12	レコメンド							
13	時系列分析、自然言語処理							
14	画像分析							
15	データ分析コンペ							
【成績評価方法】								
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（	）	合計
割合				100%				100%
(補足)		・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 ・レポートや自習課題は必ず提出すること。						
【教員紹介】								
1985年生まれ。山口県出身。東京大学大学院博士課程修了。博士(学際情報学)。日本学術振興会特別研究員を経て、2013年に日本電信電話株式会社に入社。5Gと自動運転に関する研究開発を経て、現在、中央大学国際情報学部准教授。コンピュータネットワークとAIに関する研究教育活動に従事。								
【教科書・参考文献】								
吉田雅裕，『Pythonで学ぶはじめてのデータサイエンス』，技術評論社，2023								

東京電子専門学校

開講課程			開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程			情報処理科/システム運用コース		2025		2 年 後期	
講義区分		授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
専門	必修	実習	卒業制作Ⅰ		成田与志子	無	4 単位 60 時間	
	選択		卒業制作Ⅱ				2 単位 30 時間	
【授業の到達目標及びテーマ】								
今までの学習のまとめとして、各自でテーマを決め、作品を完成する。作業は1～3人のグループで行い、プロジェクト管理についても経験する。最後に作品について発表し、論文を執筆し提出する。								
【講義概要】								
指導教員は、システムの全体設計に関わる相談、発表指導、論文指導を行う。評価は、発表を重視する。								
回	授業計画及び学習の内容							
1	チームを決める。							
2	テーマ決定、リーダー決定。テーマ発表準備							
3	第1回 中間発表（テーマ発表）							
4	中間発表の批評を受けてテーマの再検討、制作作業							
5	制作作業							
6	制作作業							
7	制作作業							
8	第2回 中間発表（制作システムの何らかの画面や機能を最低限1つは見せること）							
9	制作作業							
10	制作作業・発表準備・卒業論文執筆							
11	制作作業・発表準備・卒業論文執筆							
12	制作作業・発表準備・卒業論文執筆							
13	第3回 卒業制作発表リハーサル（制作システムのデモを必ず含めること）							
14	最終発表調整							
15	第4回 卒業制作発表							
【成績評価方法】								
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（	合計	
割合					20%	発表50%、論文30%	100%	
(補足)		・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。						
【教員紹介】								
情報学部の教員として、現在に至る。								
【教科書・参考文献】								
各自で用意させる								

東京電子専門学校

開講課程			開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程			情報処理科/システム運用コース		2025		2 年 後期	
講義区分		授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
専門	選択	実習	卒業制作Ⅱ		成田与志子	無	2 単位 30 時間	
	必修		卒業制作Ⅰ				4 単位 60 時間	
【授業の到達目標及びテーマ】								
今までの学習のまとめとして、各自でテーマを決め、作品を完成する。作業は1～3人のグループで行い、プロジェクト管理についても経験する。最後に作品について発表し、論文を執筆し提出する。								
【講義概要】								
指導教員は、システムの全体設計に関わる相談、発表指導、論文指導を行う。評価は、発表を重視する。								
回	授業計画及び学習の内容							
1	チームを決める。							
2	テーマ決定、リーダー決定。テーマ発表準備							
3	第1回 中間発表（テーマ発表）							
4	中間発表の批評を受けてテーマの再検討、制作作業							
5	制作作業							
6	制作作業							
7	制作作業							
8	第2回 中間発表（制作システムの何らかの画面や機能を最低限1つは見せること）							
9	制作作業							
10	制作作業・発表準備・卒業論文執筆							
11	制作作業・発表準備・卒業論文執筆							
12	制作作業・発表準備・卒業論文執筆							
13	第3回 卒業制作発表リハーサル（制作システムのデモを必ず含めること）							
14	最終発表調整							
15	第4回 卒業制作発表							
【成績評価方法】								
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（		合計
割合					20%	発表50%、論文30%		100%
(補足)		・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。						
【教員紹介】								
情報学部の教員として、現在に至る。								
【教科書・参考文献】								
各自で用意させる								

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象		
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース	2025		2 年 前期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数		
基礎専門 必修	実習	Office実務Ⅱ	佐藤 薫	有	2 単位 30 時間		
【授業の到達目標及びテーマ】							
Office（Word、Excel、PowerPoint）の基本操作を定着させ、さらに応用機能を習得してスキルアップを目指す。いろいろな種類の文書を作成する能力を身に付け、業務に対応できるよう応用力を付けることが目標。							
【講義概要】							
ExcelとWordはビジネスシーンを想定した課題を作成する。PowerPointはプレゼンテーション作成から発表準備までの機能を学ぶ。教科書（Excel）以外の内容は補足資料を配布。文書の目的を意識して課題作成に取り組み、最後に印刷プレビュー等で全体の仕上がりを確認してから提出すること。修正点がある課題は修正してから必ず再提出すること。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	Excel（入力規則の設定）						
2	Excel（2019からの新しい関数、データベース関数）						
3	Excel 第1章（売上日報、売上実績表、時間帯別客単価表、仕入れ予定表などの計算機能）						
4	Word（ビジネス文書、複雑な表のある文書作成）						
5	Excel 第2章（在庫棚卸表、販売店別売上表、売上成績比較の集計機能）						
6	Excel 第2章（顧客別売上集計表、経費集計表）、大きな表の扱い方						
7	Word（ビジュアルな文書作成、画像、図形、SmartArt）						
8	PowerPoint（プレゼンテーションの作成、デザイン、レイアウト）						
9	PowerPoint（アニメーション効果、マスターの利用、リハーサル、発表者ツール）						
10	Excel 第3章（複合グラフ、ヒストグラム、パレート図などのグラフの応用）						
11	Excel 第5章（社員名簿、宿泊施設一覧、売上台帳などのデータベース機能）						
12	Word（差し込み印刷、外部データの利用）						
13	Excel 第4章（受注一覧、発注一覧、請求書作成、書式設定などのマクロ機能）						
14	まとめ						
15	まとめ						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合		80%			20%		100%
(補足)		・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 ・レポートや自習課題は必ず提出すること。					
【教員紹介】							
専門学校でOffice系の科目、派遣会社で企業向けのOffice研修を担当。MOS試験やOffice関連の書籍の執筆も担当。							
【教科書・参考文献】							
・30時間でマスター Excel2019（実教出版）※1年次に使用したもの ・Excel2019 ビジネス活用ドリル（日経BP）							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象		
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース		2025		2 年 前期		
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・ 時間数		
専門基礎 必修	講義	基本情報科目A対策Ⅱ		成田与志子	無	2 単位	30 時間	
【授業の到達目標及びテーマ】								
基本情報技術者試験(FE)の科目A試験の合格を目指す。								
【講義概要】								
科目Aの試験は過去問が多く出題される。過去問をくり返し解き、合格点を目指す。 免除試験合格、あるいはFE取得で本講義及び定期試験は免除とする。								
回	授業計画及び学習の内容							
1	最新の問題から順に、問題を見直す。小テスト。							
2	最新の問題から順に、問題を見直す。小テスト。							
3	最新の問題から順に、問題を見直す。小テスト。							
4	最新の問題から順に、問題を見直す。小テスト。							
5	最新の問題から順に、問題を見直す。小テスト。							
6	最新の問題から順に、問題を見直す。小テスト。							
7	中間試験							
8	最新の問題から順に、問題を見直す。小テスト。							
9	最新の問題から順に、問題を見直す。小テスト。							
10	最新の問題から順に、問題を見直す。小テスト。							
11	最新の問題から順に、問題を見直す。小テスト。							
12	最新の問題から順に、問題を見直す。小テスト。							
13	最新の問題から順に、問題を見直す。小テスト。							
14	最新の問題から順に、問題を見直す。小テスト。							
15	期末試験							
【成績評価方法】								
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（	）	合計
割合		70%	20%		10%			100%
(補足)		・ 成績は1 0 0点を最高とし、6 0点以上を及第点とする。 ・ 原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。						
【教員紹介】								
情報学部教員として、現在に至る。								
【教科書・参考文献】								
IPA公開の過去問を使用する。								

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース		2025		2 年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・ 時間数	
専門基礎 必修	講義	基本情報科目B対策Ⅱ		安藤 真理	無	2 単位 30 時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
基本情報技術者試験（F E）の取得を目指すため、科目Bの過去問などや主に出題されるアルゴリズムを学習する。							
【講義概要】							
基本情報技術者試験は過去問から出題されるので、過去問の学習および理解を深める。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	基本情報技術者試験の科目Bについて 受験時の注意						
2	ソート①						
3	ソート②						
4	文字列処理①						
5	文字列処理②						
6	中間試験対策						
7	中間試験解説						
8	過去問対策（アルゴリズム小問①						
9	過去問対策（アルゴリズム小問②						
10	過去問対策（アルゴリズム大問①						
11	過去問対策（アルゴリズム大問②						
12	過去問対策（セキュリティ①						
13	過去問対策（セキュリティ②						
14	期末試験対策						
15	期末試験解説						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（	合計
割合		80%			20%		100%
(補足)							
【教員紹介】							
大学院在学時より小学校ICT支援員とPCクラブ講師に従事。中学数学科・技術科、高校情報科の教員、専門学校にて外国人留学生に教えるなど様々な教育現場に従事した経験を持つ。							
【教科書・参考文献】							
基本情報技術者[科目B]アルゴリズムとプログラミング トレーニング 問題集(第2版)（大原出版）							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース		2025		2 年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・ 時間数	
専門基礎 必修	講義	ITパスポート対策Ⅱ		成田与志子	無	2 単位	30 時間
【授業の到達目標及びテーマ】							
ITパスポート試験合格を目標とする							
【講義概要】							
ITパスポート試験の対策を行う。用語と問題を理解し、合格を目指す。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	疑似言語 記述の規則						
2	疑似言語 プログラムの読み方						
3	マネジメント 開発技術。 過去問練習						
4	マネジメント プロジェクトマネジメント。 過去問練習						
5	マネジメント サービスマネジメント。 過去問練習						
6	ITパスポート 令和7年過去問題の解説						
7	中間試験対策						
8	テクノロジー 基礎理論。 過去問練習						
9	テクノロジー 技術要素。 過去問練習						
10	テクノロジー コンピュータシステム。 過去問練習						
11	ストラテジ 経営戦略。 過去問練習						
12	ストラテジ 企業と法務。 過去問練習						
13	ストラテジ システム戦略。 過去問練習						
14	ITパスポート 令和6年過去問題の解説						
15	期末試験対策						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合		60%	20%		20%		100%
(補足) ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。							
【教員紹介】							
情報学部の教員として、現在に至る。							
【教科書・参考文献】							
令和6年度 かやのき先生のITパスポート教室 栢木 厚 著							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象		
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース	2025		2 年 通年		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数		
基礎専門 選択	講義	セキュリティマネジメント対策Ⅲ	外部企業より派遣	無	2 単位 30 時間		
【授業の到達目標及びテーマ】							
国家試験 情報セキュリティマネジメント の試験対策講座。 原則として本試験の受験をすることを受講条件とする。							
【講義概要】							
半期に一度集中講義の形で開講。 社会人向けに資格対策講座を実施している教育ベンダと提携し、講師を派遣してもらい講義を行う。 Ⅰと同じ内容だが、Ⅰ受講者で資格未取得者は再度受講ができる。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	①「情報セキュリティマネジメント試験の概要」 ・出題傾向と学習方法 ②「情報セキュリティ全般」 ・情報セキュリティの概念、マルウェア、パスワードの不正入手／不正利用 ③「情報セキュリティ全般」 ・Webサイト利用者への攻撃、サービスの妨害／悪用、人的脅威／物理的脅威／その他の脅威 ④「情報セキュリティ全般」 ・暗号化技術／認証技術、デジタル署名 ⑤「情報セキュリティ対策」 ・マルウェア対策、不正アクセス対策 ⑥「情報セキュリティ対策」 ・ネットワークセキュリティ、情報漏えい対策、その他のセキュリティ対策 ⑦「情報セキュリティ管理」 ・情報セキュリティマネジメント、ISMS、リスクマネジメント ⑧「情報セキュリティ管理」 ・情報セキュリティインシデント管理 ⑨「情報セキュリティ関連法規」 ・情報セキュリティ関連法規						
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合					100%		100%
(補足)		・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 ・レポートや自習課題は必ず提出すること。					
【教員紹介】							
-							
【教科書・参考文献】							
-							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象		
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース	2025		2 年 前期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数		
基礎専門 選択	実習	MOS対策Ⅲ	砂賀 勝己	無	1 単位 15 時間		
【授業の到達目標及びテーマ】							
マイクロソフトMOS資格の対策講座。 原則として資格試験の受験を目指すことを受講条件とする。							
【講義概要】							
模擬試験ソフトを使用し、繰り返し練習を行う							
回	授業計画及び学習の内容						
1	模擬問題ソフトを繰り返し練習し、ランダム出題で80%以上の点数取得を目指す。						
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合					100%		100%
(補足)		・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 ・レポートや自習課題は必ず提出すること。					
【教員紹介】							
教育機関にて学内のシステム・インフラ開発業務に従事 教員歴30年強. プログラム言語やネットワーク、サーバ系の授業を主に担当。							
【教科書・参考文献】							
-							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース		2025		2 年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・ 時間数
一般教育 必修	講義	一般常識 I		唐戸 民雄	無	2 単位 30 時間
【授業の到達目標及びテーマ】						
基本的な計算力、一般的な漢字の読み、社会科系統・理科系統の基本的な知識を再確認する。						
【講義概要】						
言語事項の確認、社会科系統（地理・歴史・政治経済）、理科系統（物理・化学・地学・生物）などの基礎知識、就職試験、SPI などでも出題される早さ、通貨算、鶴亀算などを確認する。毎回、確認テストを行う。						
回	授業計画及び学習の内容					
1	言語事項の確認 1	社会科系統 1	理数系統 1	確認テスト 1		
2	言語事項の確認 2	社会科系統 2	理数系統 2	確認テスト 2		
3	言語事項の確認 3	社会科系統 3	理数系統 3	確認テスト 3		
4	言語事項の確認 4	社会科系統 4	理数系統 4	確認テスト 4		
5	言語事項の確認 5	社会科系統 5	理数系統 5	確認テスト 5		
6	言語事項の確認 6	社会科系統 6	理数系統 6	確認テスト 6		
7	言語事項の確認 7	社会科系統 7	理数系統 7	確認テスト 7		
8	中間試験					
9	言語事項の確認 8	社会科系統 8	理数系統 8	確認テスト 8		
10	言語事項の確認 9	社会科系統 9	理数系統 9	確認テスト 9		
11	言語事項の確認 10	社会科系統 10	理数系統 10	確認テスト 10		
12	言語事項の確認 11	社会科系統 11	理数系統 11	確認テスト 11		
13	言語事項の確認 12	社会科系統 12	理数系統 12	確認テスト 12		
14	言語事項の確認 13	社会科系統 13	理数系統 13	確認テスト 13		
15	期末試験					
【成績評価方法】						
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）
割合		80%	10%		10%	
(補足)		・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 ・レポートや自習課題は必ず提出すること。				
【教員紹介】						
四半世紀にわたり、東京電子専門学校において、表現技法、一般常識を担当してきました。 また、他の専門学校で論文作成を、都の職業訓練校でビジネス関係の科目を教えてきました。						
【教科書・参考文献】						
授業時にプリントを配付する。						

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース		2025		2 年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・ 時間数	
一般教育 必修	講義	一般常識Ⅱ		唐戸 民雄	無	2 単位 30 時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
基本的な計算力、一般的な漢字の読み、社会科系統・理科系統の基本的な知識を再確認する。							
【講義概要】							
言語事項の確認、社会科系統（地理・歴史・政治経済）、理科系統（物理・化学・地学・生物）などの基礎知識、就職試験、SPI などでも出題される早さ、通貨算、鶴亀算などを確認する。毎回、確認テストを行う。回数が前後する場合もある。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	言語事項の確認	諸所の分野	四則演算 1	文章題 1（仕事算）	確認点スト 1		
2	言語事項の確認	諸所の分野	四則演算 2	文章題 2（年齢算）	確認点スト 2		
3	言語事項の確認	諸所の分野	四則演算 3	文章題 3（植木算）	確認点スト 3		
4	言語事項の確認	諸所の分野	四則演算 4	文章題 4	確認点スト 4		
5	言語事項の確認	諸所の分野	四則演算 5	文章題 5	確認点スト 5		
6	言語事項の確認	諸所の分野	四則演算 6	文章題 6	確認点スト 6		
7	言語事項の確認	諸所の分野	四則演算 7	文章題 7	確認点スト 7		
8	中間試験						
9	言語事項の確認	諸所の分野	四則演算 8	文章題 8	確認点スト 8		
10	言語事項の確認	諸所の分野	四則演算 9	文章題 9	確認点スト 9		
11	言語事項の確認	諸所の分野	四則演算 1 0	文章題 1 0	確認点スト 1 0		
12	言語事項の確認	諸所の分野	四則演算 1 1	文章題 1 1	確認点スト 1 1		
13	言語事項の確認	諸所の分野	四則演算 1 2	文章題 1 2	確認点スト 1 2		
14	言語事項の確認	諸所の分野	四則演算 1 3	文章題 1 3	確認点スト 1 3		
15	期末試験						
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合		80%	10%		10%		100%
(補足)		・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 ・レポートや自習課題は必ず提出すること。					
【教員紹介】							
四半世紀にわたり、東京電子専門学校において、表現技法、一般常識を担当してきました。 また、他の専門学校で論文作成を、都の職業訓練校でビジネス関係の科目を教えてきました。							
【教科書・参考文献】							
授業時にプリントを配付する。							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象														
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース	2025		2 年 前期														
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数														
一般教育 必修	講義	基礎英語Ⅱ	Tope Salami	有	2 単位 30 時間														
【授業の到達目標及びテーマ】																			
英語でパイソンプログラミングを学習し終了時には簡単なプログラミングができるようにする。																			
【講義概要】																			
TOPE先生が担当し英語で授業を行う。実際にパイソンを使いながら実習形式で受領を行う。																			
回	授業計画及び学習の内容																		
1	自己紹介、英語の訳し方、伝え方、このクラスの目標																		
2	Introducing Python																		
3	Conversing with Python																		
4	Writing a Program (Python Script)																		
5	確認照合用!A1																		
6	Review																		
7	Mid term test																		
8	Mid term review																		
9	Create your first Program																		
10	Create your first Program #2																		
11	Comments and Errors #1																		
12	Comments and Errors #2																		
13	Variables																		
14	Review																		
15	Final test																		
【成績評価方法】																			
<table><tr><td>評価項目</td><td>試験・課題</td><td>小テスト</td><td>レポート</td><td>平常点</td><td>その他（ ）</td><td>合計</td></tr><tr><td>割合</td><td>100%</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>100%</td></tr></table> （補足） ・成績は1 0 0点を最高とし、6 0点以上を及第点とする。 ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 ・レポートや自習課題は必ず提出すること。						評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	割合	100%					100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計													
割合	100%					100%													
【教員紹介】																			
Tope Salami：IT関連会社運営、カナダ、サウジアラビア、日本で合計1 2年の英語関連、Pythonプログラミング関連の実務経験。生徒が授業に積極的に参加する雰囲気作りに情熱を注いでいる。”																			
【教科書・参考文献】																			
-																			

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象		
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース	2025		2 年 後期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・ 時間数		
一般教育 必修	実習	体育実習Ⅱ	情報処理科 担当教員	無	2 単位 30 時間		
【授業の到達目標及びテーマ】							
運動や、課外活動、学園祭を通して、健全な身体と精神を育む。 学園祭は、各種催し物の企画、準備、実施、参加により、協調性を養います。 心身の健全な育成を目指しています。							
【講義概要】							
この授業は学園祭（準備 2 日間、学園祭 2 日間）の参加を以て、評価します。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	学園祭準備（1 日目、2 日目）						
2							
3							
4	学園祭（1 日目）						
5							
6							
7	学園祭（2 日目）、後片づけ						
8							
9							
10	-						
11							
12							
13	-						
14							
15							
【成績評価方法】							
評価項目		試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合 （補足）					100%	100%	100%
		・ 成績は1 0 0 点を最高とし、6 0 点以上を及第点とする。 ・ 原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。 ・ レポートや自習課題は必ず提出すること。					
【教員紹介】							
-							
【教科書・参考文献】							
-							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象
工業専門課程		情報処理科/システム運用コース	2025		2 年 通年
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
一般教育 選択	実習	課外活動Ⅱ	情報処理科 担当教員	無	1 単位 15 時間

【授業の到達目標及びテーマ】

インターンシップで就業体験をしたり、企業との産学連携事業を通して特別授業やセミナーを受講、外部の勉強会やコンテスト参加など、就職に役立つ知識の習得や最新の技術動向に触れるなど、学内の授業だけでは体験できないことを経験する。

【講義概要】

参加した時間数に応じて1次元単位時間を超えた場合に 1 単位を認定する

回	授業計画及び学習の内容
1	インターンシップ、企業が実施する特別授業、セミナー受講、外部の勉強会参加、コンテスト参加など
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他(出席と取り組む姿勢)	合計
割合				50%	50%	100%

(補足)

- ・成績は100点を最高とし、60点以上を及第点とする。
- ・原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。
- ・レポートや自習課題は必ず提出すること。

【教員紹介】

-

【教科書・参考文献】

-